

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

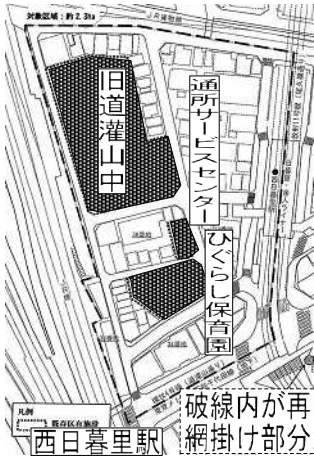
583

2015年7月26日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
✉ arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを  
ご覧下さい。横山幸次  
で検索して下さい。

## 西日暮里駅前再開発地区に サンパール建設の可能性を検討

施設の  
ありかた…



破線内が再開発区域  
網掛け部分が区有地

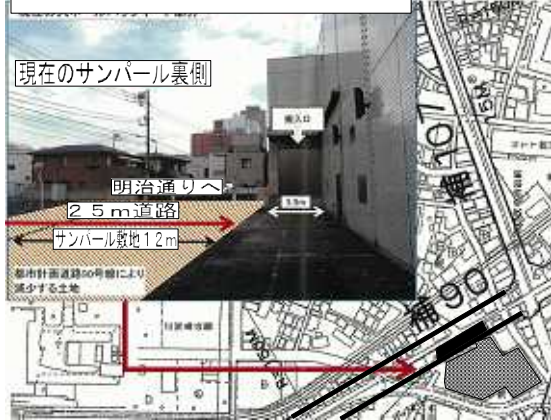
**24億円かけて大規模改修中に発表しましたが…  
区施設の建て替えの優先順位や長寿命化の検討は？**

荒川区は西日暮里駅前再開発計画地区に区民会館（大ホール等）の建設の可能性調査を委託で行ったと福祉・区民委員会に報告しました。

西日暮里駅前再開発計画地域は、約2.3㌔で、旧道灌山中4、200㎡、ひぐらし保育園930㎡、通所サービスセンター1670㎡合計約5,900㎡の区有地（左図参照）があります。道路（8,150㎡）を含め約6割が荒川区の土地で最大地権者です。

委員会の説明では、A〜C案（下表）まで提示。民間興行も視野に、1500席の大ホールを取り入れる案が有力とのこと。実はこの報告は、今年1月に完成していましたが議会への報告は半年後となりました。しかしサンパール

区は、現在地での建て替えや長寿命化が困難な理由として、2〜3年施設利用ができない、裏のバックヤードが補助90号線の幅でほとんどなくなってしまうためとしています。



現在のサンパール裏側

明治通りへ

2.5m道路

サンパール敷地12m

都市計画道路90号線により減少する土地

### 施設イメージ

	A案	B案	C案
延床面積	約15,000㎡	約10,000㎡	約12,000㎡
大ホール	1,500席	1,000席	1,500席
中ホール	400席	300席	-
小ホール	300席	300席	300席
その他	リハーサル室、練習室、ギャラリー、会議室など		
建設費	約105億円	約70億円	約85億円

**裏面** 4月からの介護保険でサービスは...など

**定例法律相談会**  
8月の定例法律相談はお休みします。  
なお、お急ぎの方はご連絡下さい。

お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しします。生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

**まづの話あれこれ**  
サンパール荒川の大規模改修の現状は…  
敷地が狭いのがれきは屋上集積にしているようです

区役所控室から見える景色はさほど変わるものではありません。せいぜい天候によって今日のスカイツリーは雲に隠れているとか…。しかし、現在は、目の前のサンパール荒川の大規模改修が行われていることであつ

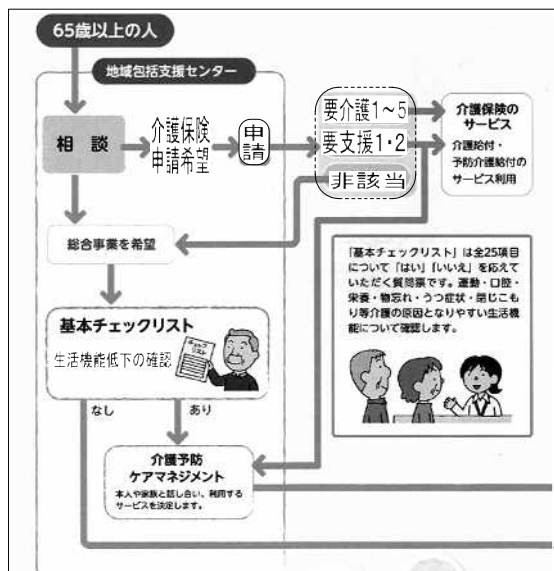
て、工事の様子が目につきません。何気なく見ると大ホールの屋上部分に大量のがれきが集積され、作業員の方の姿も見えました。どうも敷地も狭くがれきをこの部分に集めて、クレーンで搬出しているようです。いずれにしても改修工事は順調のようです。建て替え話も出ていますが、来年改修後の利用開始が待たれます。

横山幸次



# これからの 介護保険は

# 4月からの「新しい総合事業」で 要支援の方のサービスはどうなった



**荒川区の総合事業**

要介護認定で要支援1・2の判定にの方  
基本チェックリストで生活機能低下が見られた方  
(訪問サービス事業)  
指定事業者による訪問事業(国基準)  
これまでと同じホームヘルプサービス  
おうちでリハビリ(3ヶ月週1回)

(通所サービス事業)  
指定事業者による通所サービス事業(国基準)  
これまでと同じデイサービス  
まるごと元気アップ(4ヶ月17回程度)  
おげんきランチ(1年週1回)  
他に口腔保健教室、低栄養予防教室など

**一般介護予防(65歳以上誰でも利用できる)**

こらばん体操  
はつらつ能力アップ  
各種講演会、健康教室、講座  
ふれあいいきいきサロン  
にこにこサポート・ちょこっとサポートなど

**65歳以上すべて対象…荒川区は「国基準」で出発**  
その人にとって必要な介護が提供されるのでしょうか

この4月からの介護保険で、いちばん心配されたことが、要支援の方のホームヘルプサービスとデイサービスがどうなるかでした。

共産党区議団は、この間区当局からの聞き取りと合わせ、各地域包括支援センターを訪問し実態を調査してきました。

**8月から一定所得以上で  
介護保険利用料が2割(2倍)負担**

「一定以上の所得」は、単身で年金のみ収入年間280万円以上。1割か2割かの判断は世帯ごとでなく、個人ごと。例えば夫婦の年金収入合計で400万円で、夫の分が280万円、妻が120万円なら、自己負担は夫が2割、妻は1割になる。200万円ずつなら、2人とも1割。高額介護サービス制度があるにしても負担増が家計にどう影響するのか心配です。

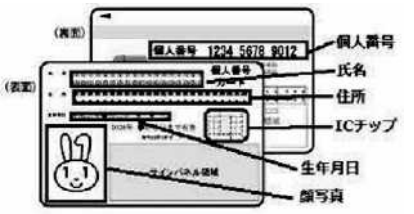
政府は、「国基準」を決めそれを上回るサービスは認めず、基準以下は各自自治体の判断で可能としています。サービスの引き下げが可能になる仕組みです。

荒川区は、「新しい介護総合事業」の実施に当たって「国基準」通りに出発しました。お聞きした地域包括支援センターでは、要支援の方のホームヘルプサービス、デイサービスは、新規も含め従前通り実施されているようです。

区議会で、繰り返しサービスの取り上げを止めることを追求し、区もこれまでと変わらないと答弁してきました。必要なサービスがどなたにもきちんと提供されているか、引き続き注視していきたいと思えます。

## 来年1月から「個人番号カード」の交付… 区の財政負担とともに個人情報保護が心配

政府は、この10月から住民票のある全ての人に12桁の個人番号を付番、10月5日から「通知カード」(紙製)が世帯単位で簡易書留で送付されます。この際、「個人番号カード」(ICカード 上図)希望者は、同封の申請書に写真を貼って返送することになります。しかし、実際のカード発行は、来年の1月4日からとなっています。しかし発行業務だけで区は、別に場所を借り職員も別途配置、多額の経費も必要です。国はカード発行経費だけは出すようですが他の事務経費は、全額区の負担です。また、マイナンバー制度自体、年金情報漏洩事件の全体像も解明されていない中、実施しようとしています。個人情報の保護は本当に大丈夫なのか、また、最初に送られてくる「通知カード」や個人番号カードの紛失にどう対応するか不安も残されています。やはり10月からのマイナンバー制度実施は、中止すべきではないでしょうか。



## 「強行採決しても国民はすぐ忘れる」(自民・官邸筋)… 思惑超えて「戦争法案廃案」運動は広がり続けています

自民や官邸筋は、「法案が成立すれば国民はすぐ忘れるし、支持率も回復する」などとうそぶいています。どこまで国民を馬鹿にすればこの内閣は気が済むのか…! 自民、公明が衆院で強行採決を行いました。その後もあきらめどころか、「戦争法案は廃案」の声と運動は広がり続けています。高畑勲監督、俳優の吉永小百合さん、大竹しのぶさんなど多くの映画人のみなさんが声を上げています。また東大、京大、早稲田など多くの大学関係者有志(学生、教員など)が共同の声明を出しはじめています。戦争する国を許さず国民主権・民主主義を守る闘いにもなっています。

	支持率	不支持率
毎日	35	51
共同通信	37.7	51.6
ANN	36.1	47.0
朝日	37	46
FNN	39.3	52.6

各社の内閣支持調査 単位は%

